

東北学院大学 南津島民俗調査プロジェクト

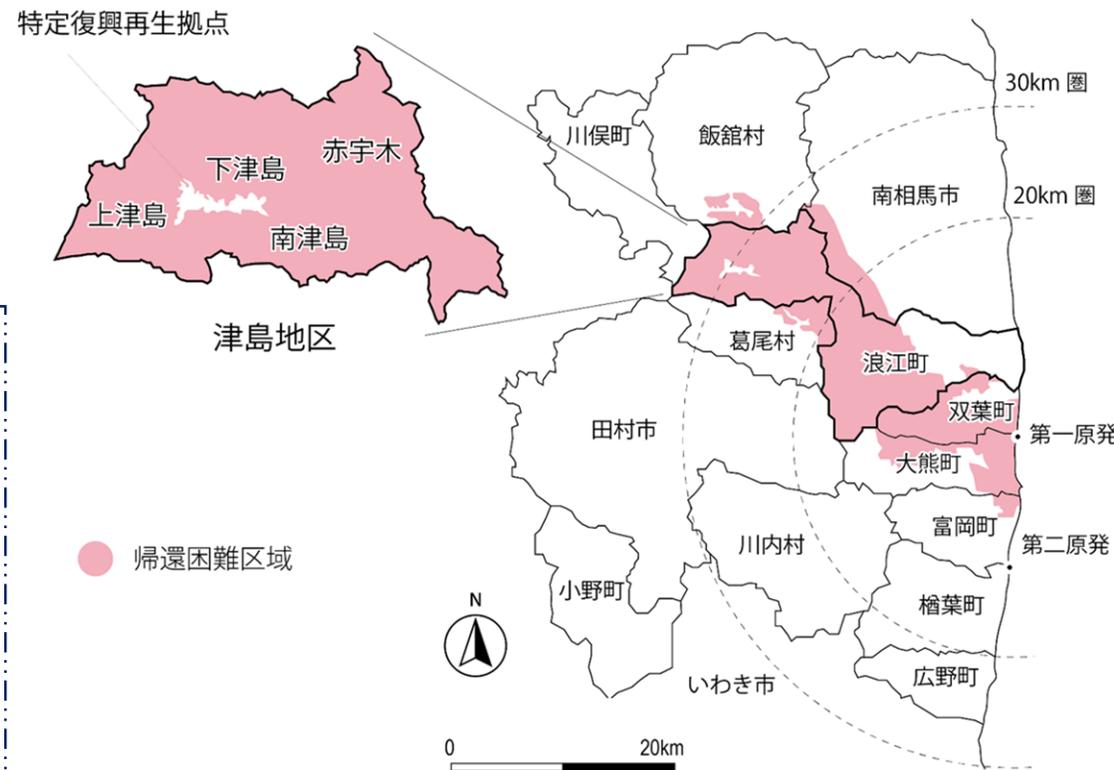
浪江町南津島地区



1. 地区の概要と課題

課題

大部分が帰還困難区域である。
一部指定が解除され、復興事業が
開始されるなど明るい兆しもある。
ただ、集落再生はこれからである。



前年度まで…

「民俗芸能の宝庫」と言われた南津島地区において、
これまで2年間にわたって、民俗芸能の継承支援を中心とした
活動を実施してきた。

2. 今年度実施した取組みの内容

① 合同練習 **2** 回

(①8月31日~9月1日、②10月6日)

② イベント出演・支援 **4** 回 (年度内にあと **2** 回実施予定)

2024

3月17日 : 「食べて応援しよう! In仙台2024」 / 宮城県仙台市 勾当台公園
→ 田植踊・神楽

8月17日 : 「つしま夏祭り」 / 福島県浪江町 つしま活性化センター
→ 盆踊り

10月13日 : 「さあ行くべ! つしま肉まつり」 / 福島県浪江町 つしま活性化センター
→ 田植踊・神楽

11月24日 : 「復興なみえ十日市祭」 / 福島県浪江町 地域スポーツセンター
→ 神楽・岡崎

2. 今年度実施した取組みの内容

③ 博物館展示

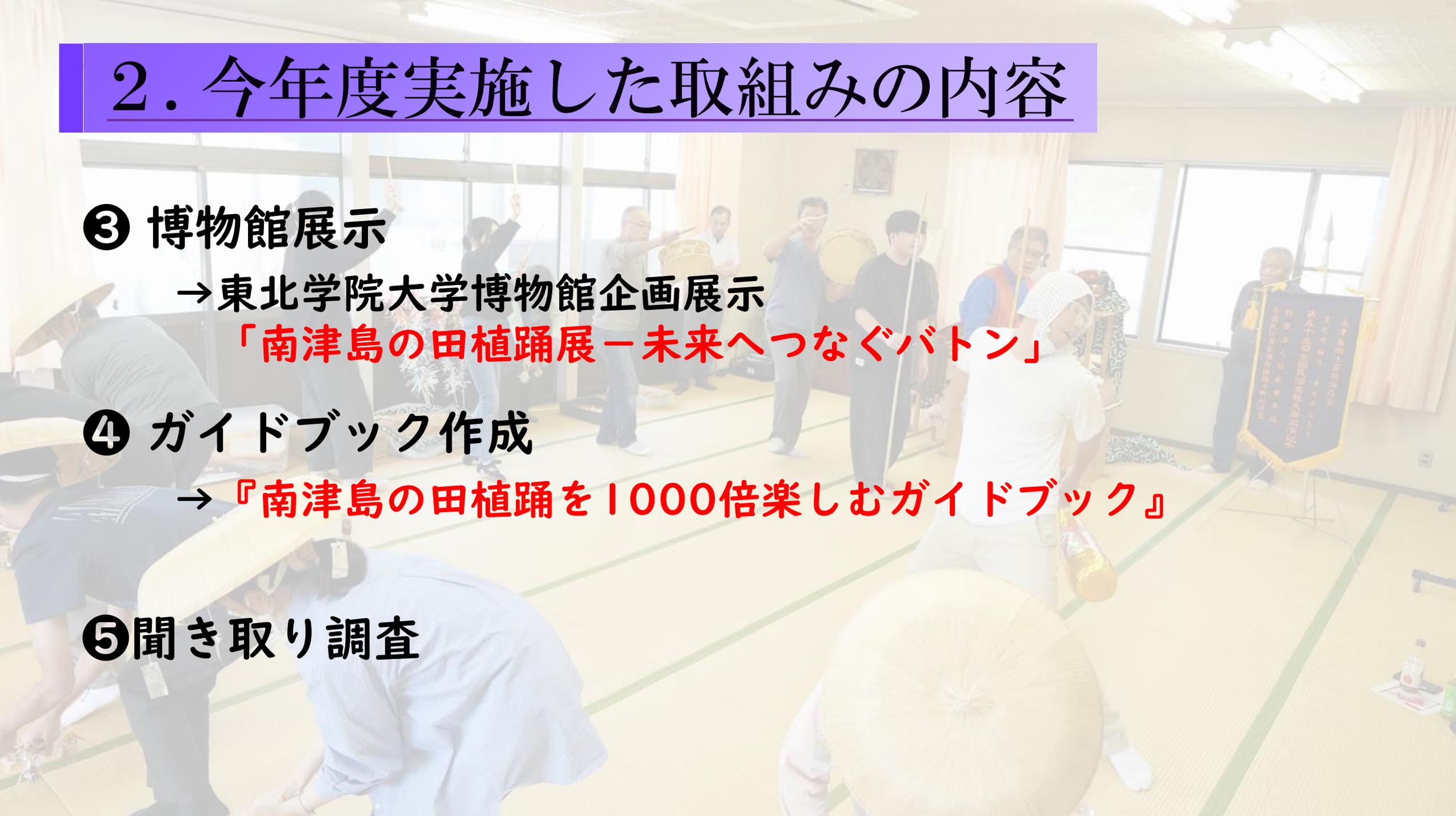
→ 東北学院大学博物館企画展示

「南津島の田植踊展－未来へつなぐバトン」

④ ガイドブック作成

→ 『南津島の田植踊を1000倍楽しむガイドブック』

⑤ 聞き取り調査



合同練習 & イベント出演



博物館展示準備



3. まとめ

- 交流会・イベント支援など、保存会に対する必要なサポート活動を、今年度も滞りなく実施することができた。
- 博物館展示やガイドブックなど、新規の活動にもつなげることができた。

また、踊りの衣装や道具類を贈呈していただくなど、たくさんの方の支援の存在と活動そのものの深まりを強く感じた。

踊るだけでなく、伝える・広げる活動を展開することができたのは大きな一歩であると考えます。



4. 今後に向けて

- ① これまでの支援活動を継続していくことが軸
- ② 南津島地区を中心に、津島地区のみなさんを招いての交流会
- ③ 企画展やガイドブックに使用した、民俗学者・山口弥一郎先生 [1902-2000] と関連したイベントの実施

ご清聴ありがとうございました

